



~玉姫調教録~
王となる者

王^{〜王姫調教録〜}となる者 前編





高台の岩に避難しろッ!!

走れえッ!!



守備兵は民を守れ

東方の異民族の侵攻によって国境は戦火に見舞われつつあった

伝令ッ!!

援軍を要請しろッ!!

王国軍に援軍をッ



行けーッ!!

奪えーッ

殺せ



食糧出せッ

たすけー!!



この剣の下に
兵は命を賭して
戦うでしょう

この剣は
王位そのもの

王家に伝わる
宝剣を

ありがたき幸せに
ございます…姫

ご武運を祈ります

はッ

聖騎士
テイルス



聖騎士
テイルスよ

蛮族制圧のため
白銀騎士団を
そなたに託します

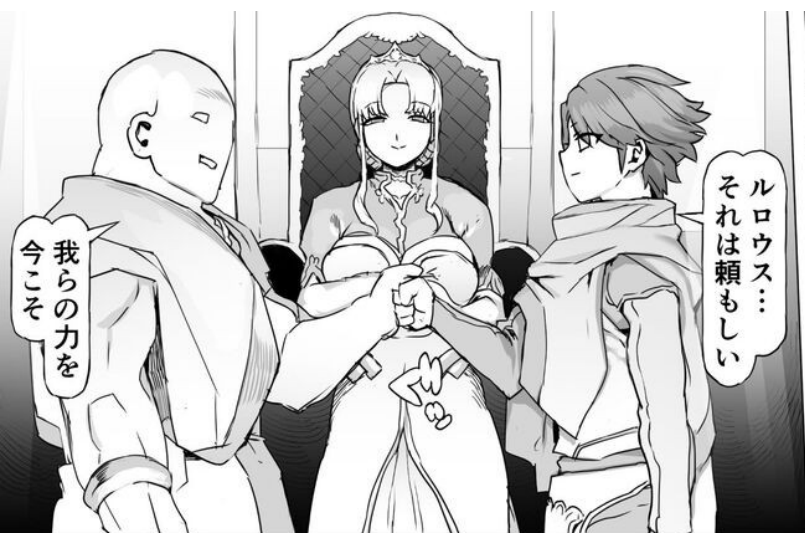
王姫
アリシユカ

静粛に



王国首都
ガラ城

おんおん



我らの力を
今こそ

ルロウス：
それは頼もしい



後方支援の任を
お与えください

私…この
ルロウスめに

姫様



は…

姫様：
それでは…

我らは王姫様の
『剣』と『盾』

無事に帰れよ
ティリス

ああ…



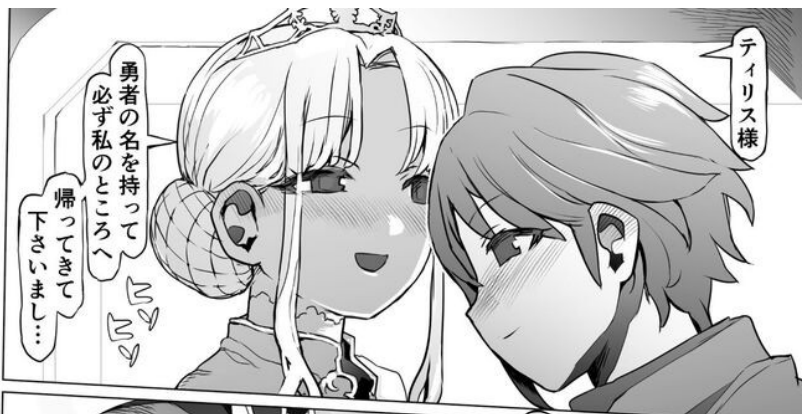
王国内の治安維持も
任せていただきたい

被害地域の復興も
進めましょう

各砦への兵站を
整えつつ

ルロウス

宰相





テイリスの奴は

幼い頃から剣において
天賦の才があり

いつも人気者だった



それに対して
オレは…

学問を好み

大書物庫にこもって
知識に夢中だった



オレとテイリスは
宗家の跡取り同士

姫を…
王位を手にする者は
どちらか

常に比較されてきた



相変わらず
愚かな男だ



どれだけ武勲を
積み重ねても
最後に勝つのは…

この私…

宰相ルロウスよ



貴族院の
二大宗家
代々
騎士の血統と
宰相の血統…



待っていた...

この日が来るのを
待っていたぞ

貴様が戦に
赴く日を
おもむ



この女は
オレのモノにする
と

オレは心に決めた

初めて姫様に
御目通りした日

あの日...



しかし...

子供の頃と...
あの頃と同じように

少年たちの憧れと
同じように...



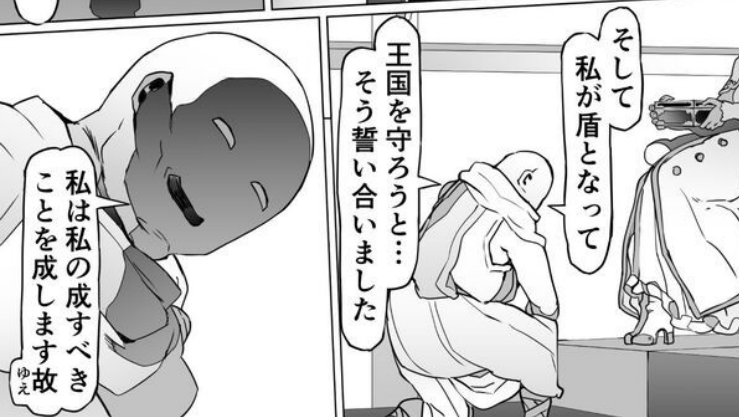
相変わらず
剣を振り回す
貴様に

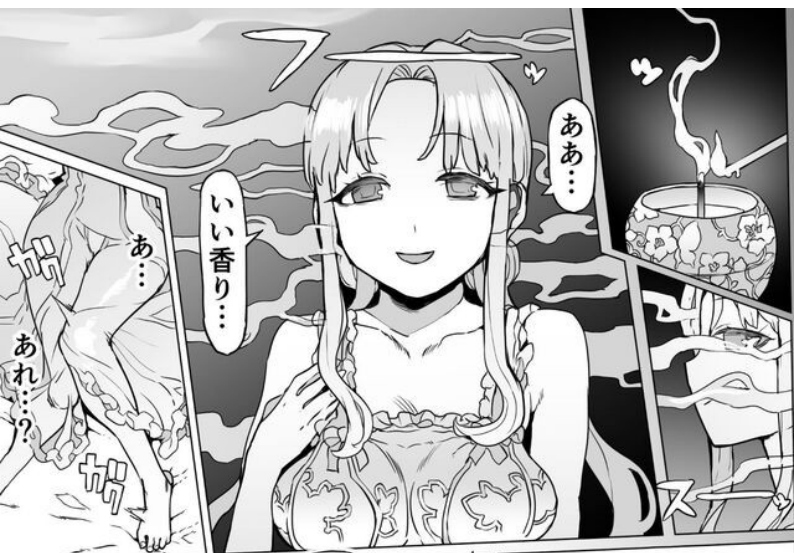
姫の心は奪われた

許せん...

馬鹿めー...
フン！ 討ち死にしてろ

オレにはオレの
策があるんだよ







このように
無防備では…

王位を司る者が



それは蛮族も
攻めて来よう
というもの

やはり
優れた者が

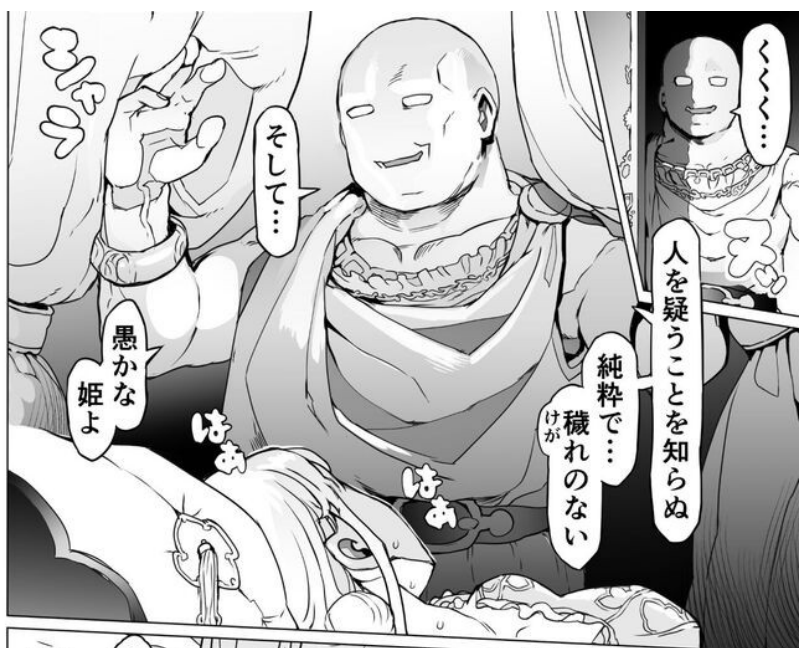
はやく
王の座に
すわらねば
ならん



ですから姫…

私めが
この国ごと

あなたを…貫つて
差し上げましょう



そして…

愚かな
姫よ

純粹で…
穢れのない
けが

人を疑うことを知らぬ



う…あ

ルロ…
ウス?



思考を
麻痺させる

毒香

これは肉体の
自由を奪い…





男から
与えられた
暴力



え？

え？

人生で初めて
味わう



役…目？

この私がッ
お前に姫の役目を
思い知らせてやる

剣を振り回すしか
能のないガキに

村娘のように
惚れおってッ



あ!!

な…っ

やめ…



たす…へ…て

テイ…リス

さわ…ないれ!!

やめ…へッ

テイ…リス

う…あ

ガキ!!



この薬は

頭の中

めちゃくちゃにして

快感と集中力だけを
増幅してくれる薬だ

あ
や...やめ...



姫の役割それは...
優秀な世継ぎを
生むこと

剣を振り回すは
兵の仕事

王の仕事とは
すなわち...

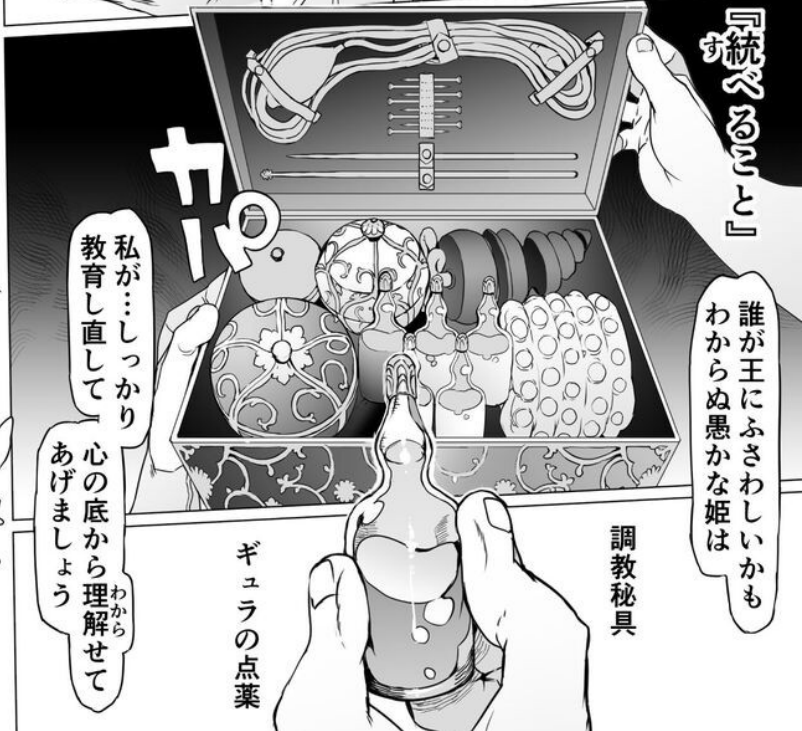


オレのガキ孕んで
ヒリ出すために...

う
あ

あ!!

チ○ポに媚び
ひれ伏す...
穴に作り変えてやる



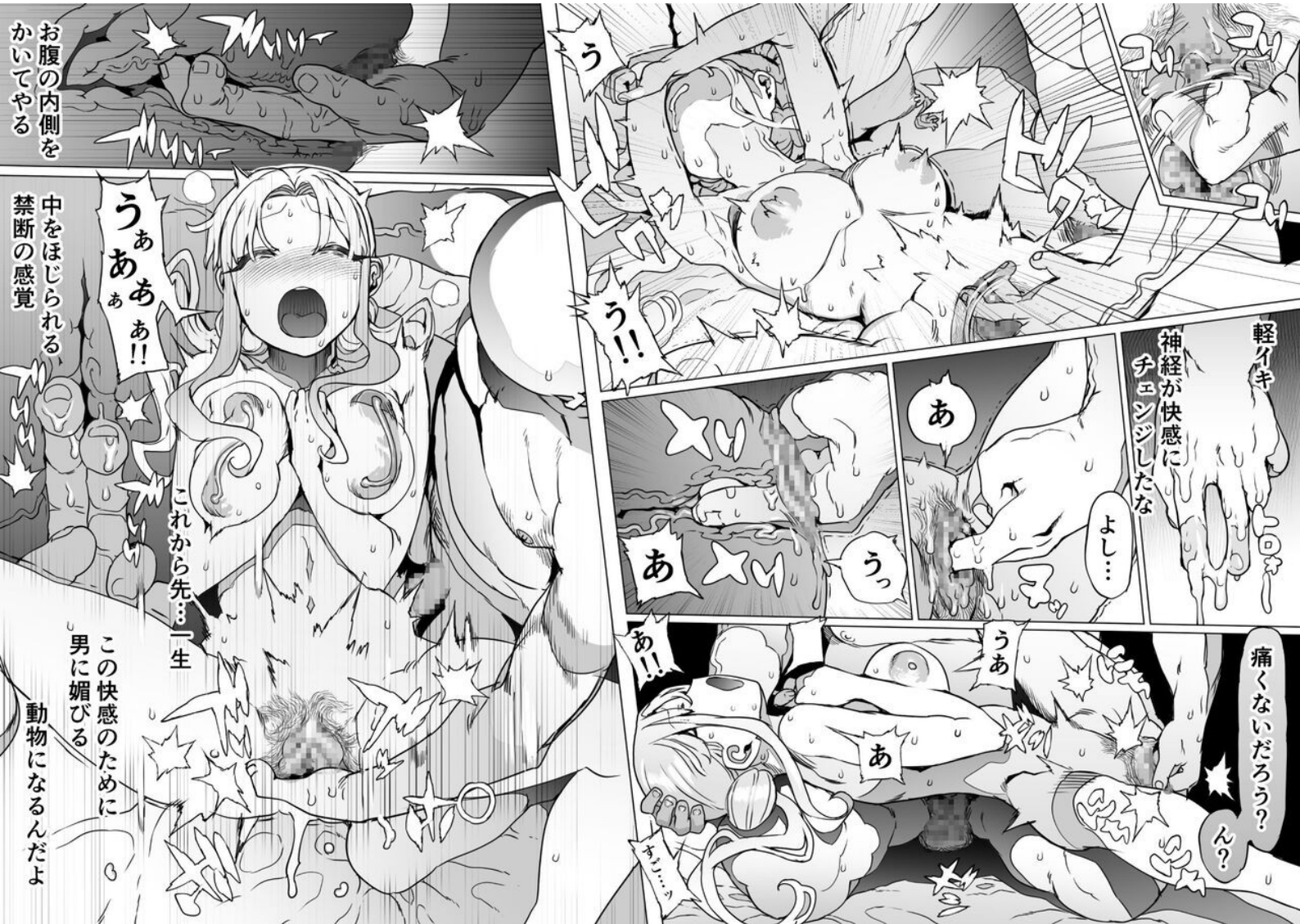
『続べること』

誰が王にふさわしいかも
わからぬ愚かな姫は

調教秘具

ギユラの点葉

私が...しっかり
教育し直して
心の底から理解せて
あげましょう



お腹の内側を
かいてやる

中をほじられる
禁断の感覚

うあああ!!

これから先一生

この快感のために
男に媚びる
動物になるんだよ

う!!

あ

よし...

軽介キ
神経が快感に
チェンジしたな

あ!!

うあ

あ

痛くないだろう?
ん?







オラッ どうだ
オラあッ チ○ポの味はあッ!?

腹ツ中に

オレのチ○カス
擦り込んでやる

ほくらほら
汚れてるぞお!

ははは

アイツとは
キスしてならだろ?

オレが

純潔全部
汚してやる







大臣どもには根回し
しておりますので
ご安心を

姫はしばらく公務は
お休みとなっております

これから毎日
たっぷり
楽しめますよお

お

うあ

どうかね姫様

お

よし…

全部絞り出した…

あ

さあて…と

鍵

ぶ

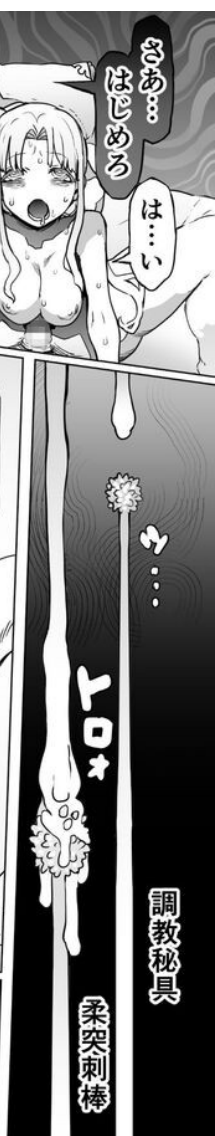
ふう

ちゅん

あ









ほいほい
うう〜ッ

オラ
続けろ

ルロウス様の
赤ちゃんを産みます



あ
赤ちゃんッ
産みッ
産みまづらッ!!

頭
真っ白に…

ルロウス様のッ



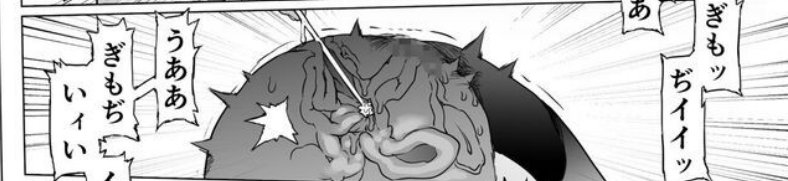
ルロッ
崇…はッ

おッ
崇拝イッ…
てますッ!!

私はあッ
ルロッ…さまのッ

うあ
あ

うあ



うああ
ぎもち
いいい

ぎもッ
ぢイイッ



耐えろ

意識ッ…
トぶッ!!

うああ…ッ
ダメ!!

チ○ポ握れ



しごくッ

チ○ポッ

心を込めて
チ○ポしごけ

しごくうッ



姫：
時間はたっぷり
あるからな

徹底的にオレに
染めてやる

お前が何のために
生まれてきたのか…
オレが教えてやる

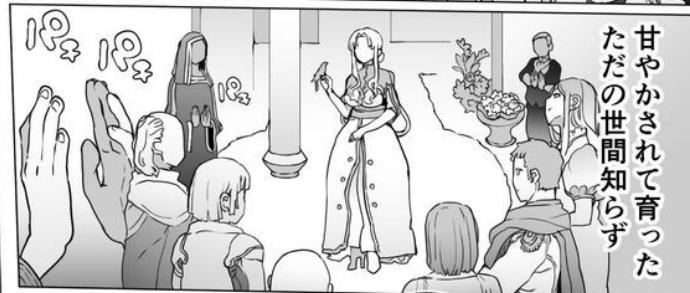
続



気高く美しく…
聡明なアリシユカ姫
その名は

…と人々の目には
映っていただろう

だが…
姫君という『皮』の
中身は



甘やかされて育った
ただの世間知らず



その『皮』をひん剥いて
丸裸にしてやれば

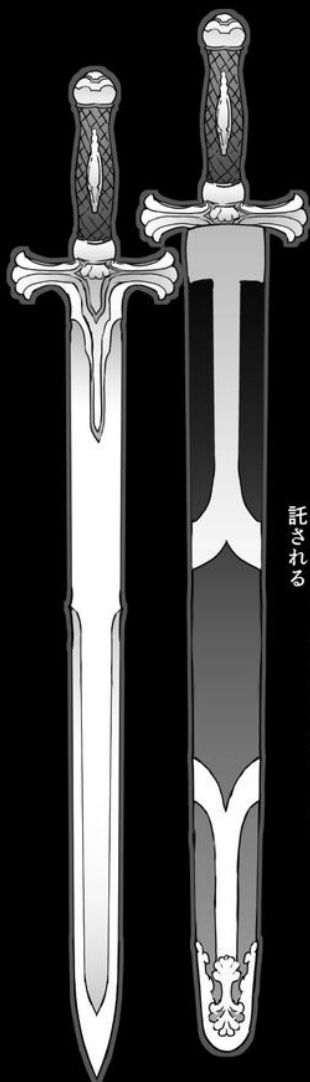
本物の悪意の
恐ろしさを知らぬ
無力で空っぽの…
ただのカキ



アイテム紹介

王国の宝剣

七大国宝のひとつ
王国創建時に神が与えたとされる剣
王家最強の白銀騎士団を率いる者に
託される



ギユラの点薬

ギユラの花実から精製する向精神薬
快感神経と集中力を異常増進させる



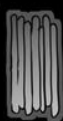
性交に使用することで
凶悪な興奮・幸福感を与える

異常集中力のため時間感覚が狂う
1秒間が数十秒に感じられたり
逆に何時間もひとつの刺激に没頭
できるようになる

強い依存性があり
強い快楽によって思考力や知能を
司る脳細胞が減少するといわれる

麻痺の香

南海に分布する香木と数種類の
薬草で作る香 体の自由を奪う



ロドの油脂

オスのロド豚のから作る潤滑油
ギユラを飼料に混ぜることで
麻薬成分を生体濃縮させている
生殖能力の強いオスのロド豚の
ホルモン作用といわれているが
人間の精子の活動も活性化
させたり排卵を誘発させる
効果が確認されている

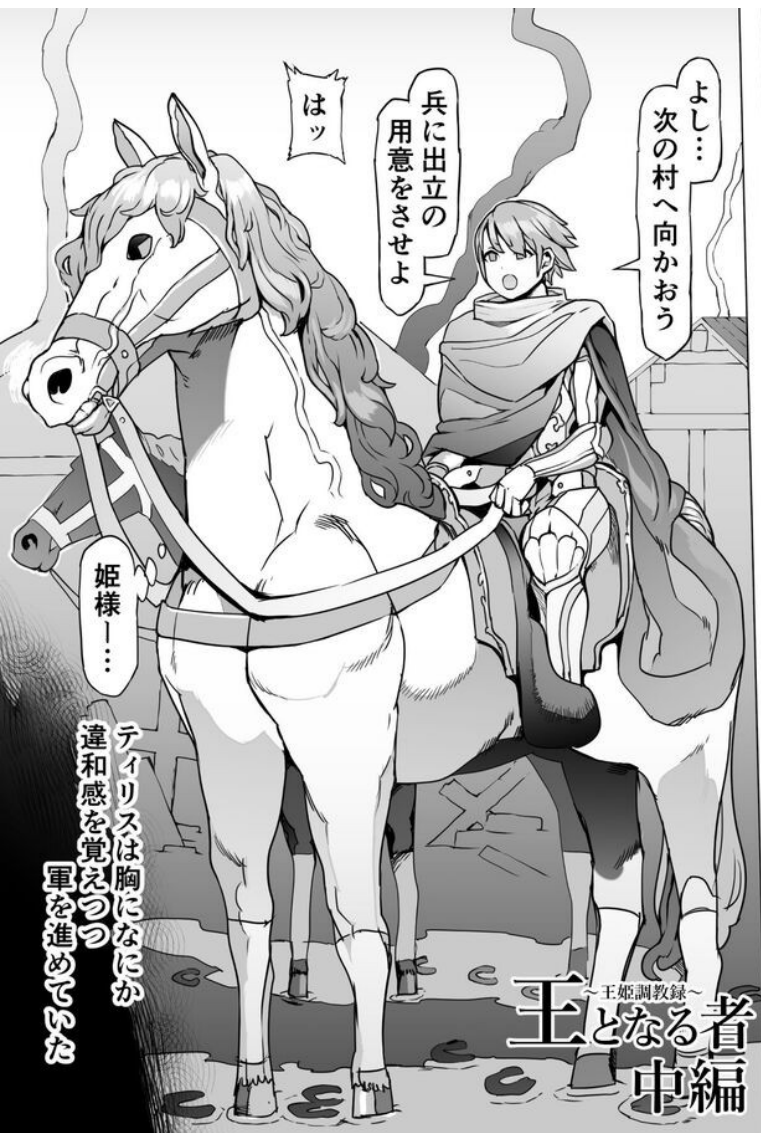


柔突刺棒

ケブという海藻の細長い枝を
乾燥させた棒 先端の放射状の
突起は胚芽枝の特殊な部位



水分を含むとシリコンのように
弾力を取り戻す 肛門の調教や
子宮の性感開発の初期に使われる





美しく清らかな姫…

姫様！…

蛮族制圧は長期化し
はや三ヶ月！
姫への想いは日に日に
募っていった

亡きダイゼルの
三種

王城の花園で
大切に育まれ

王国の奇跡

至宝

世界の穢れから
隔絶された
無垢なる姫君

はやく帰って…
お逢いしよう
ございます

アリシユカ姫…

ちょうどその頃
アリシユカ姫は……

オラッ!!

うあ

オラッ!!

ルロウ様あッ!!

ルロツ……

イキますラッ!!

イク
逝く

あ あ あ あ あ



連日連夜
過酷な『教育』は
続けられていた



時は前作の終わりへと戻る

薬から醒め
正常を取り戻した私は

激しく自己を
嫌悪していた

こんな体では：
もうティリスを
愛する資格はない

姫としての誇りも
未来も夢も
終わってしまった

薬をかがされたとはいえ

穢れてしまった

王族の女は
生涯ひとりの男に
尽くす運命
二人の男と通じるなど
許されない！

私は！
快感に狂ってしまった

何日も何日も
教育されて
覚えさせられた言葉

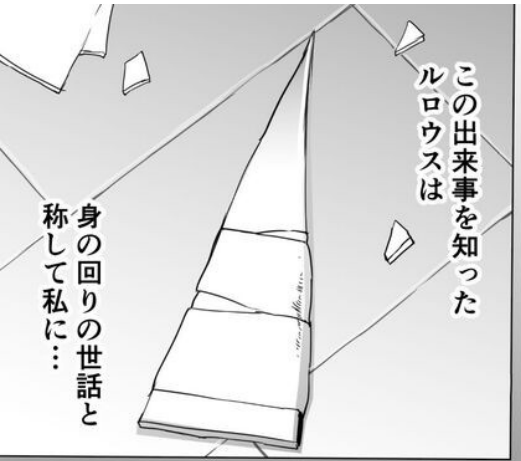
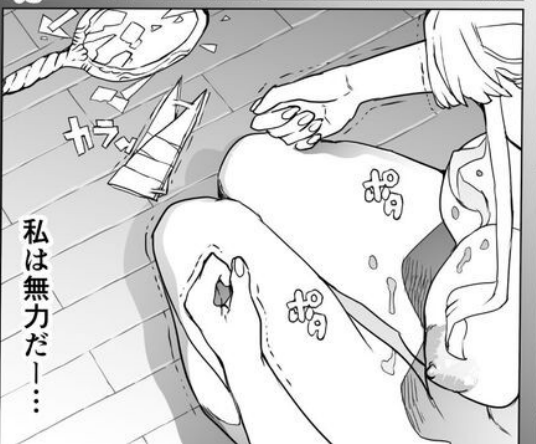
ルロウスへの忠誠を
絶叫してしまった

愛して……
ます……

ぎもち

イイ……ッ







姫…

今日から
あなたには

『身も心も』妻に
なるための
『教育』を受けて
いただく



なに？
何？

シャル
アレを
着けさせろ

は



カチ

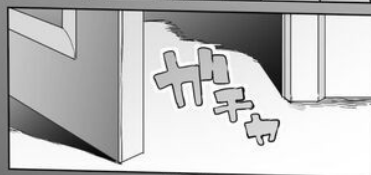
その日から…

ルロウスの
『教育』が…
始まった



懐妊…？

ルロウスの…子？
いや…嫌だ…



カチヤ



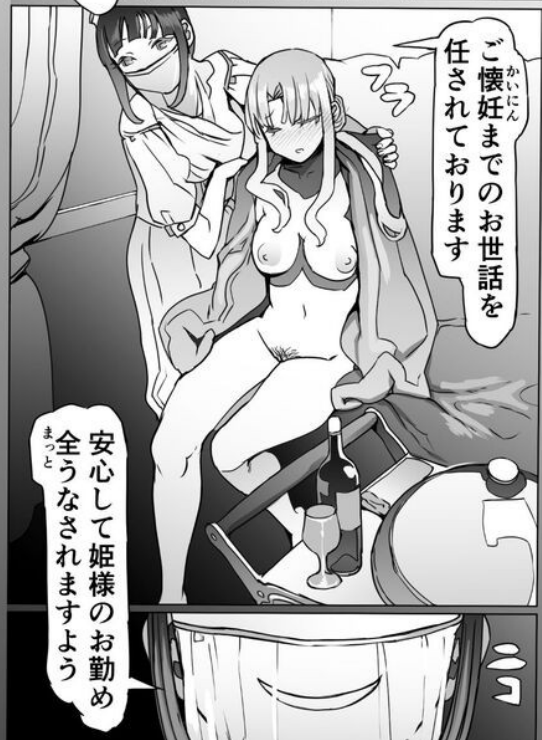
様子はどうか

ルロウス様



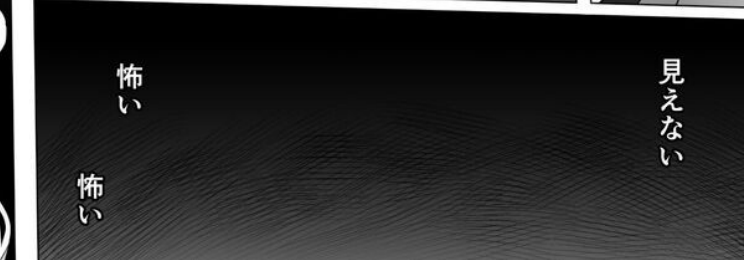
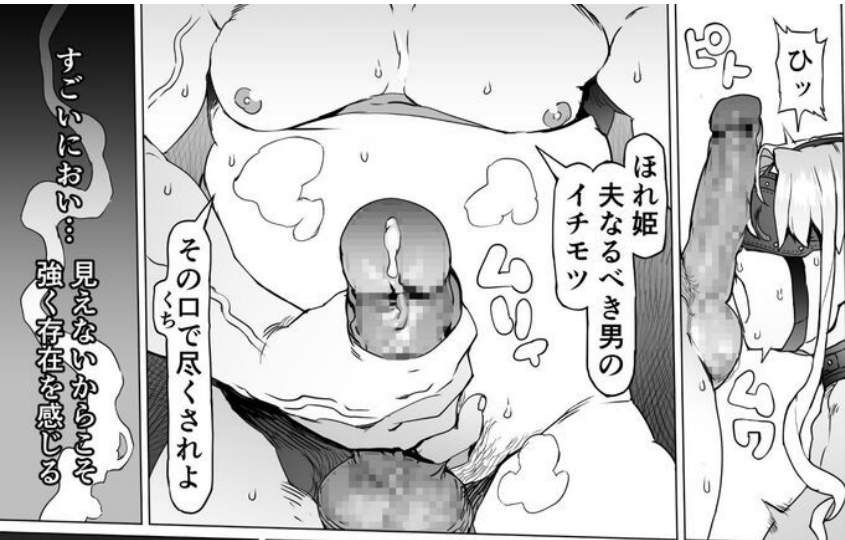
姫様のお世話を
させて頂きたく
シャルと申します

あるじ
主ルロウスの
命を受け
めい



ご懐妊^{かいたん}までのお世話を
任^{まか}せております

安心して姫様のお勤め
まっとう
全うなされますよう





「教育」が始まって何日経ったかわからない

次第にこの矯正衣の恐ろしさを実感する

「教育」のない時間も矯正衣は外されない

何を触っても分からず

う…

はぁ

あ…

暗闇のなかで時間の感覚も失われ

はぁ

「永遠の退屈」の中で狂いそうになる

はぁ

公務を終えてルロウスが帰って来ると

永遠の退屈が終わる

さあ姫

温かい手で抱き寄せて

食事を与えてくれる

その時に戻ってくる

時間 感覚 体温



ルロウスへの抵抗感が消えていくのを感じる

むしろ…

嫌だ…私

確実に心が変化していく

ルロウスを…待ってる？

そして…再び教育が始められる



イメージしろ

姫であることの
苦しみを捨てて

頭の中の難しいことを
全部消して

つらい理想も捨てて

オレにすべてを委ねれば
ほら：

すーっと気持ち
軽くなっていく...

なんくんにも無くなって
楽になっていく...



そして...その脳に
何度も何度も語りかける

オマエは無力だ

オマエは無知な豚だ

オマエには何の価値もない

何もできない

強がるな

楽になれ

楽になれ



あ

あ

あ

力を抜いて...

おおおお



何も考えずに
オレの言葉に従え

手を放して楽になれ

自分自身から
手を放せ

手を放せ

手を放せ



頭の中を
気持ちの良い言葉で
塗り潰された

優しく褒められて
ギョリ打たれて

毎日：
そう毎日 叱られないように
お返しして



吸え
吸え

毎日の調教で私は
頭がおかしくなったのか

豚鼻を鳴らして
吸いつく



気持ちいいッ
しあわせッ

全能の神に抱かれる
ように
無上の安心感と
幸福感に包まれた

すべての苦悩から解放
されるように

こうして
抱かれながら

ルロウスに
囁かれると...



脳が動物になつて
しびれる

吸う

吸う

ルロウスの
体臭に包まれて

ゆっくり優しく
かき混ぜられる

すごい
やばい快感

マ○ユ
すごい





テイリス
あの人への恋もツ
誇りもツ
掻き出されるうツ
心の苦しきもツ

あ
あ
うツ

お!!
ルロウス様ツ
うツ



妻ツ:
るうツ:
おツ!! ス...まツ
なる...ますうツ

お!!
掻き出されるツ!!!
うツ

うツ



私はルロウス様を
愛します
お!!
わ...
たしツ
はツ

ルロ...スツさま
愛...ツます!!
すごおツ
すごい

お!!
私はルロウス様の
妻となります
うツ
お



死ぬッ!!!

死ぬッ!!

死ぬ

気持ち良くて死ぬッ!!

死ぬッ!!

しあわせて死ぬッ!!



イキながら何度も

何度もイキ狂う

死ぬッ

死ぬ



ルロウスの大きな肉体に
埋まるように包まれ

チ○ポ打ち込まれ
ながら
掻き出され

絶叫する



芯をギュッと引き絞ると

数珠ような粒が
棒のように固く整列する

それで肛門掘りながら

ピストン
ゆさぶる



気持ちいい!!
しあわせッ!!

出るッ
でるうう

あ

ムリ
なる
もう無理ッ
なるッ...

妻ッ
なりますッ...!!

ルロウ様の妻にイッ!!

.....ッ!!

お
あ

ルロウ...さま...あ
妻...なり...ま...す...



う...

あ...

よし来い♪

幸福を
与えてやる

ロづけをしろ

逆らうな

なり...ます

な...ます

妻...なり...す

う...あ

くくく...♪

そうだ♪
素直に妻になれ

そうだ...♪
オレの言葉に陶醉しろ

真の王たる器

我が王たる世
見せてやろう

私に変化したのを感じて
矯正衣は外された



ふう〜…
今日は公務が
長引いてなあ

参った
参った

さあて…姫



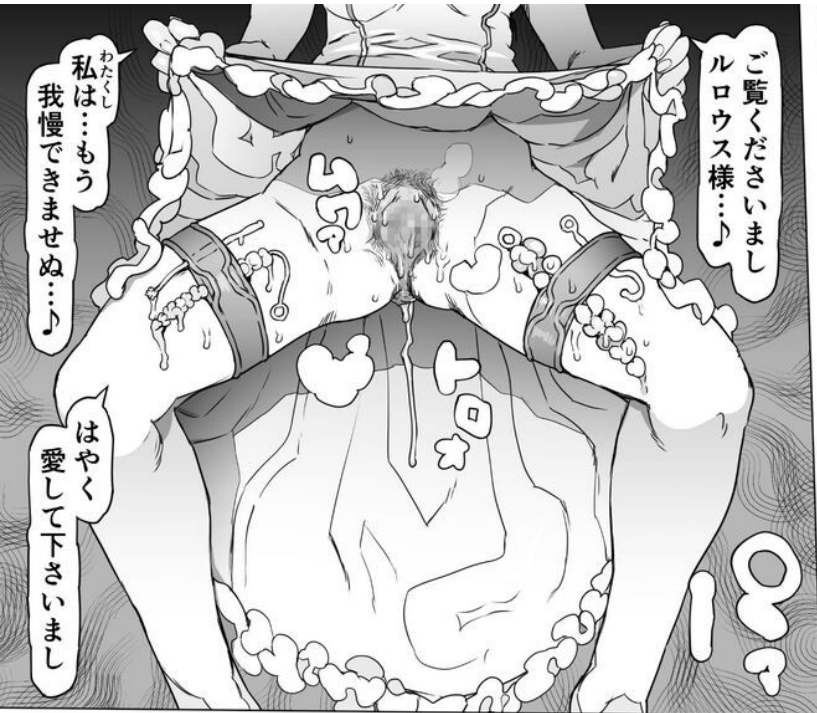
はい…
ルロウス様

よしし…
イイ子だ

見せろ

かき

はい



ご覧くださいまし
ルロウス様…♪

わたし
私は…もう
我慢できませぬ…♪

はやく
愛して下さいまし



ルロウス様のモノで
かき混ぜられたくて

ずっとお待ちして
おりましたの…♪

ルロウス様に服従したら
新しい世界が訪れた

恋愛感情なんてゴミに
感じられるほどの

幸福感が爆発する

しあわせ

ぎもちイイ

幸せ

脳逝く

私は中をカリで
かきむしられるのが
好きで
ルロウス様は
私が喜び狂うまで中を
かきむしってくれた

もう…
テイリスのこと
…なんか考えても…
胸がときめかない





度重なる交わりは ついに...

あぁ... ルロウス様...

ルロウスさまあ...

ひよりの 実を結ぶ

私はルロウス様の妻

この生涯... あなた様に捧げます

王国も... 国民も... 捧げます

アリシユカ姫は ルロウスに陥落した

愛してもっと 愛して下さいまし

そして次回... ティリスが遠征を 終えて帰還する

続

分裂を繰り返す 卵細胞



アイテム紹介2

王家の杖

七大国宝のひとつ
王位を象徴する杖
国を統べる者に代々引き継がれる



神珠と王石

杖に収められた宝石
建国の時、初代の王が
神から賜ったとされる



杖の本体は龍の骨という
伝説があり、装飾は金
ひとつの国と同じ価値が
あるという

現在の杖の所有者は
王姫アリシユカだが…

かき連珠

ぶ厚いロド豚の腸でゴム珠を
包んだ房を連ねたモノ

肛門調教の段階に応じてゴム珠の
大きさや長さを選ぶことができる



ヒモ軸を引くと固く締まり
一本の棒状になる



極太硬化

精神矯正衣

封じたい機能を自由にカスタマイズ
できる拘束衣

顔



後頭部



首



鼻用



金属のリングが関節部に収納されて
おり鎖や縄で姿勢を固定できる

太もも用



腕用



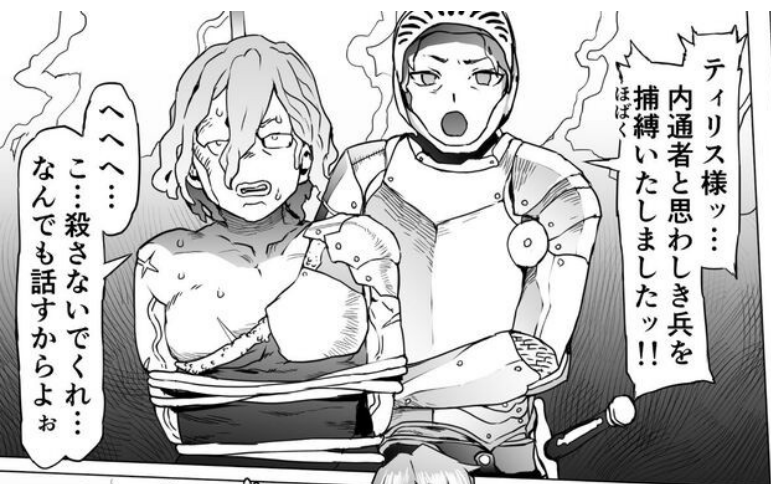
金属・革製

首を中心に全体を固定するため
非常にズレにくく拘束力が高い

蜜族討伐開始から一年

激しい戦いは、
最終局面を迎えていた。





へへへ…
こ…殺さないでくれ…
なんでも話すからよお

テイリス様ツ…
内通者と思わしき兵を
捕縛いたしましたッ!!
ほぼく



もうダメだあツ
逃げるッ…逃げるお!!

撤退ッ…
てらたい
撤退イク!!



よし…
すべて話せ

やはり情報は漏れて
いたのか…



せんめつ
殲滅せよッ!! 行け!!



主様のお子です
あるし

主様のよう
に

王国を統^すべる

大器に...
違いありません

すべての臣民の...
生命を支配する...

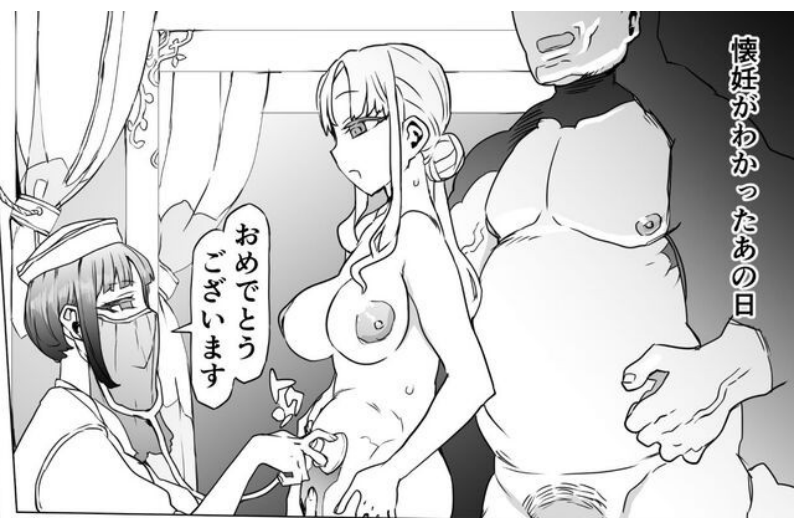
王の中の王と
なるでしょう...

アリシユカ姫は
子を宿し...

あぁ...ッ

もはや完全に
ルロウズの忠実な
下僕となっていた

きつと...







知らなかった…

許せない

許せない

許せない



殺してやる…



粛清してやる



何も知らない私を…

ルロウス様が…王国を
守って下さっていたんだ

今度は…
私が…ルロウス様を
守らなきゃ…



テイリス様派：北領鎮守
領民の妻や娘を収奪
訴え出た民衆を斬首
うった

テイリス様派：神官
脱税：禁輸品の密造…
違法な金貸し

テイリス様派：法務官
ルロウス様の失墜を狙い
いわれなき罪を仕立てる
民を奴隷として国外に売る

民を奴隷として国外に売る



ルロウス様と私の
王国が…

テイリスによって
冒されている
おか



王族特権発令せよ

これより…
罪人どもの審問を行う!!

ほう…
姫…
私の…王国のために
力を振るって下さるか



ルロウス派の功績と
テイリス派の悪評を
でっち上げ…

情報隔絶かくぜつされた姫に
延々と流し込む



それは素晴らしい

王国に巢食う虫どもを
一人残らず処刑して参ります

ルロウス様… 私…

このルロウスが晴れの舞台を
整えましょうぞ



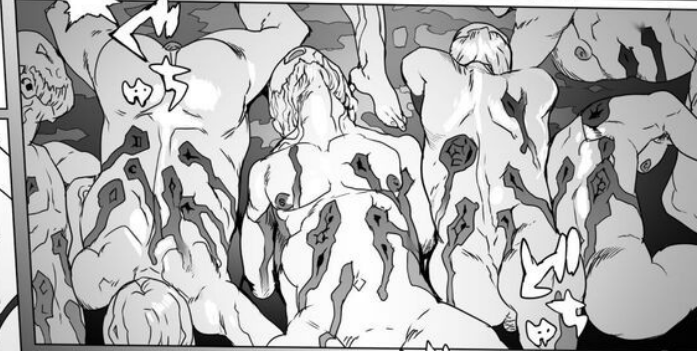
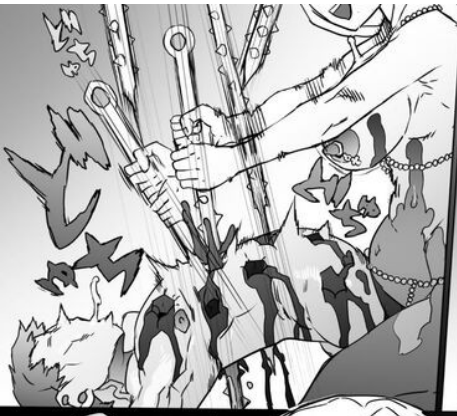
薬物断ちのストレスに
不信 怒り

憎悪

子を守る防衛本能を
刺激して
殺意にまで高める

アリシユカ姫の心に
黒い塊が練り上げられる





ルロウス様あ…
次の罪人を…これへ♪

調教完成

ルロウスの妻にして
狂信者

妖姫
アリシユカ

誕生の瞬間である



止まれ!!

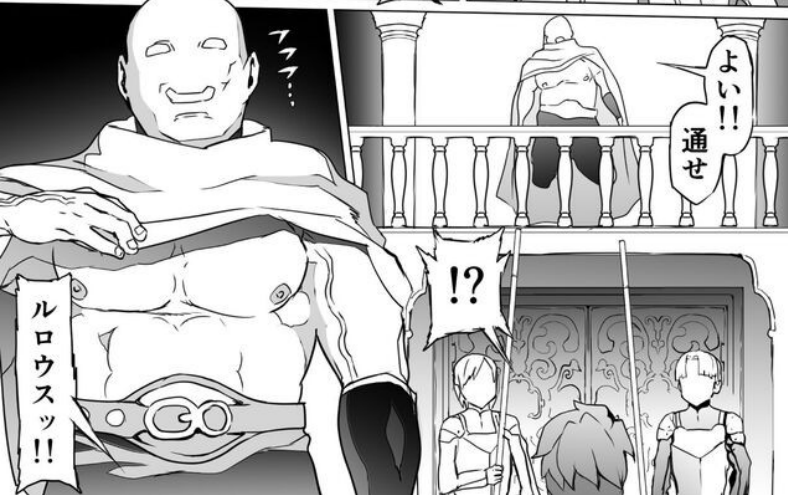


貴様ら…

入ること
まかりならん!!

玉座の間は
許可なき者

至急の用件だ
通せ



ルロウスッ!!

!?

よい!!
通せ



白銀騎士団凱旋!!

道をあげよ!!

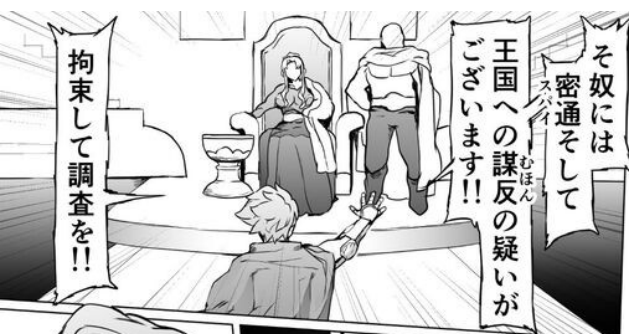
聖騎士
テイリス



ルロウスは危険だ!!

すべてはあやつ
の策謀だった!!

知らせねば…
はやく…姫様に!!



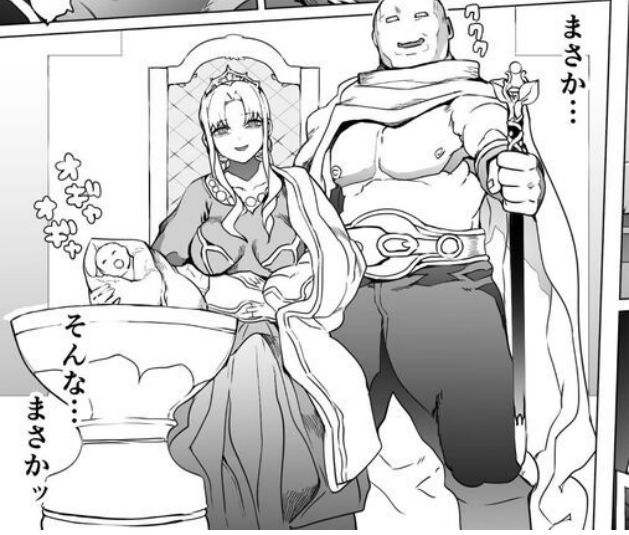
拘束して調査を!!

そ奴には
密通そして
王国への謀反の疑いが
ございます!!



な!!

よく言う...
我が夫を
謀反人と...
そう申すか



まさか...

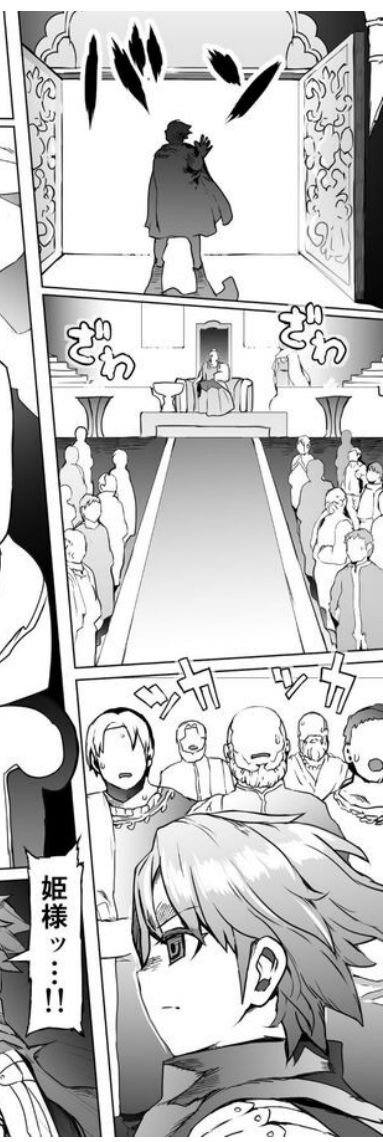
そんな...
まさかッ



蛮族討伐...
ごくろうであった
...ティリス

ルロウスから
お離れ下さい!!

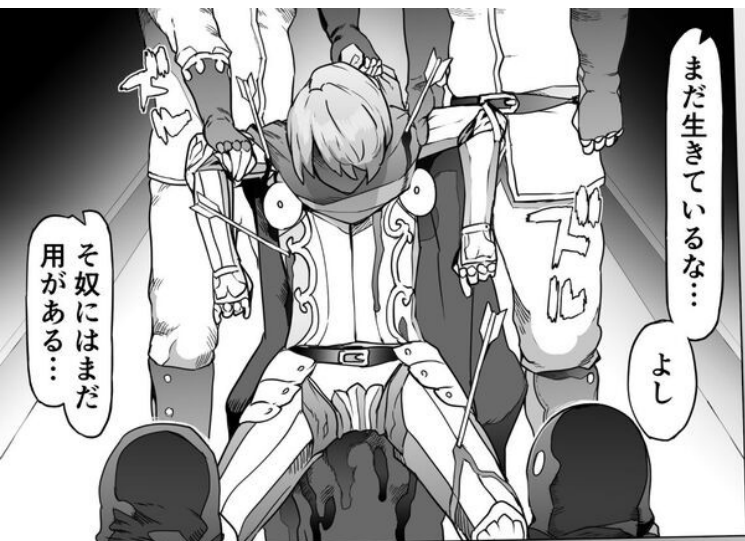
姫様ッ...!!



どわ
どわ

ワッ
ワッ





地下牢へ連れていけ

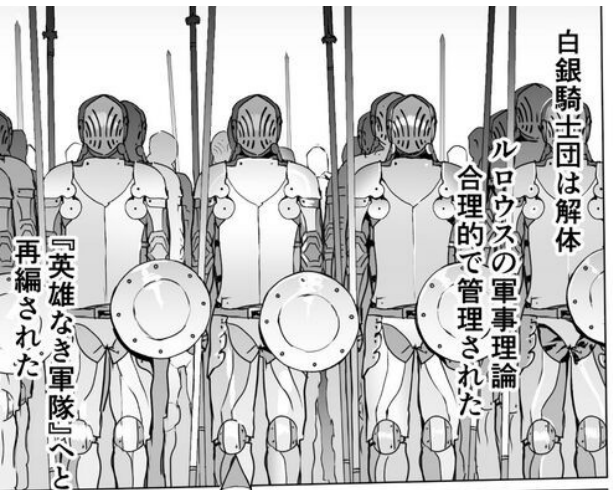
聖騎士テイリス…

乱心 謀反

この報は瞬く間に
王国中に響き渡った

貴族院はルロウス家
一強の時代となり

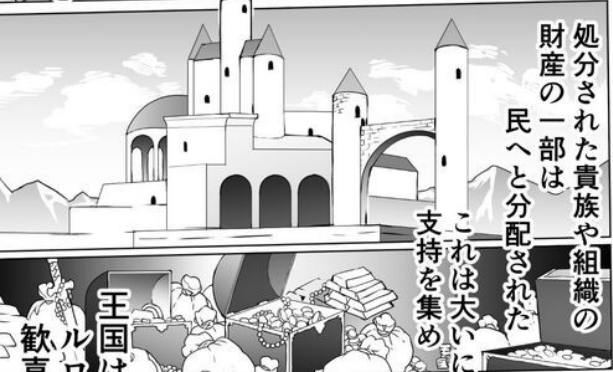
彼に逆らうものは
誰もいなくなった



白銀騎士団は解体

ルロウスの軍事理論
合理的で管理された

『英雄なき軍隊』へと
再編された



処分された貴族や組織の
財産の一部は
民へと分配された

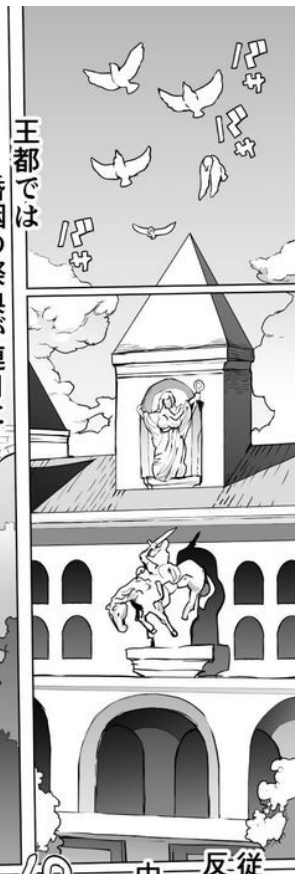
これは大いに民衆の
支持を集め

王国は：
ルロウス王の誕生に
歓喜した



新国王誕生を祝った

王都では
婚姻の祭典が連日に
わたって開かれ



新体制は
盤石とな
る

従う者には利
反すれば罰
中立の諸侯らは
ルロウス派へ流れ

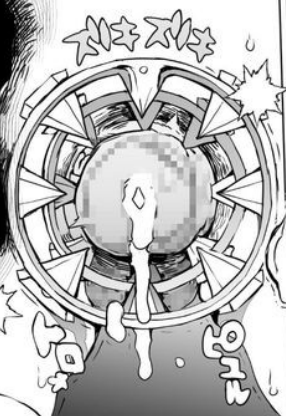




ふふふ

なんだそれは笑

勃起できなくても
まだ精子出るか



ずいぶん小さく
なったなあ

それじゃもう
子孫は作れまい



俺を見る

見ろ
見ろ



王姫を屈服させた
俺のチ○ポを

オスの力の差を見ろ

こうして王位継承の戦いは
完全決着した…

ルロウス王の治世は
栄華を極めた

テイリスのその後は
誰も知らない…

終